

(2) 中山間地域の高齢者の公共交通対策について（地区別テーマ）

①現状

- ・大竹栗谷線は平日4便（土日祝日は3便）で利用者が少ない。
- ・公共交通の利用状況と収支状況（別紙資料）

②問題点等

- ・運行時間が長く運賃も高い。

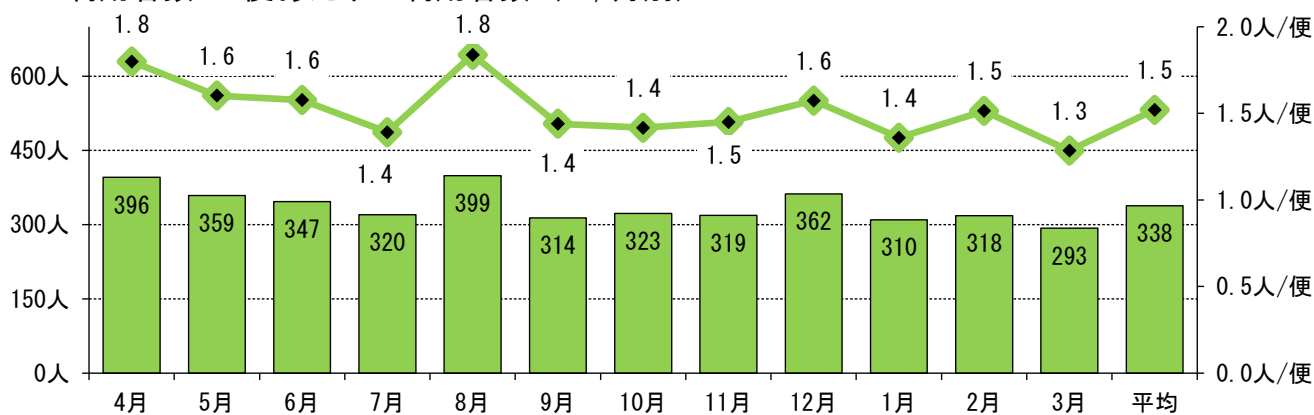
③意見交換したいこと

○運行ルートの変更（ゆめタウンや市役所も経由）について

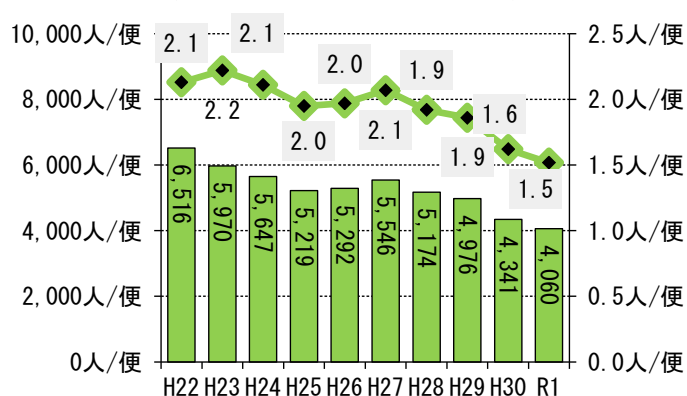
○デマンド交通について

大竹・栗谷線の運行状況

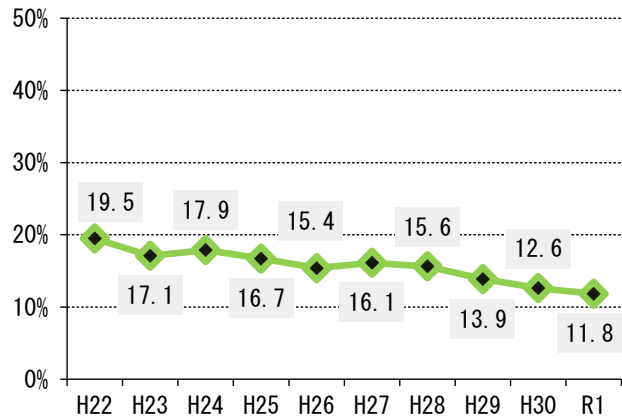
1 利用者数・1便あたりの利用者数 (R1/月別)



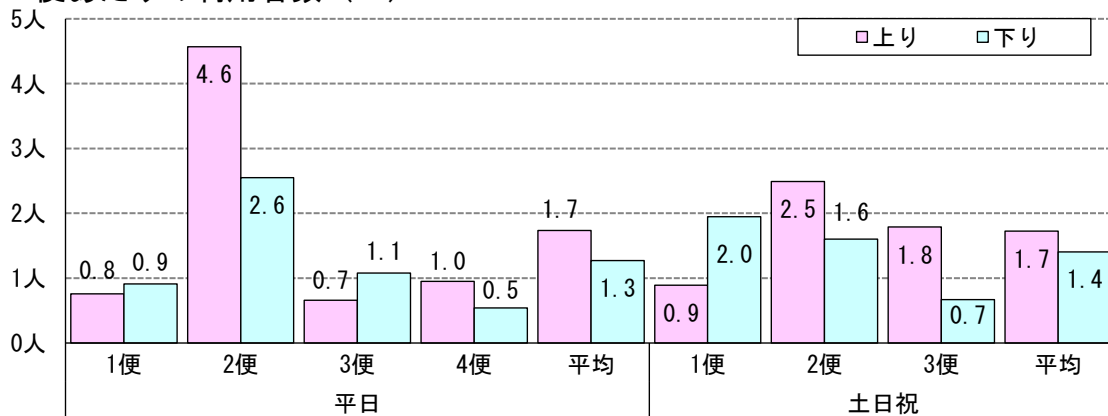
2 利用者数・1便あたりの利用者数 (年度別)



3 収支率 (年度別)



4 1便あたりの利用者数 (R1)



5 運行経費, 運賃収入, 市負担額

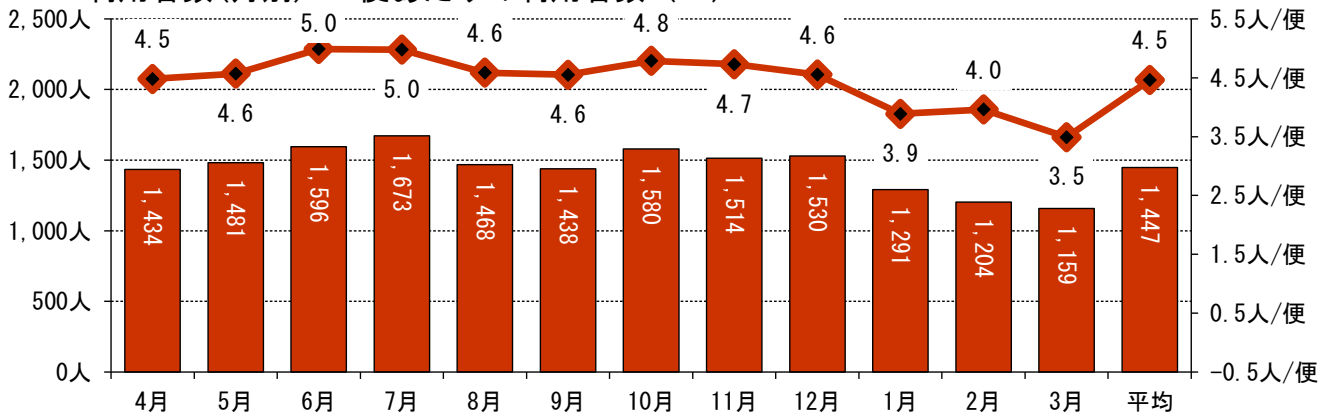
(単位: 千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
運行経費	12,039	12,972	12,631	12,749	13,322	13,999	13,903	14,298	14,340	14,755
運賃収入	2,345	2,219	2,259	2,132	2,051	2,257	2,172	1,983	1,808	1,747
市負担額	8,960	8,998	9,076	9,935	10,169	10,749	11,299	11,598	11,756	12,518

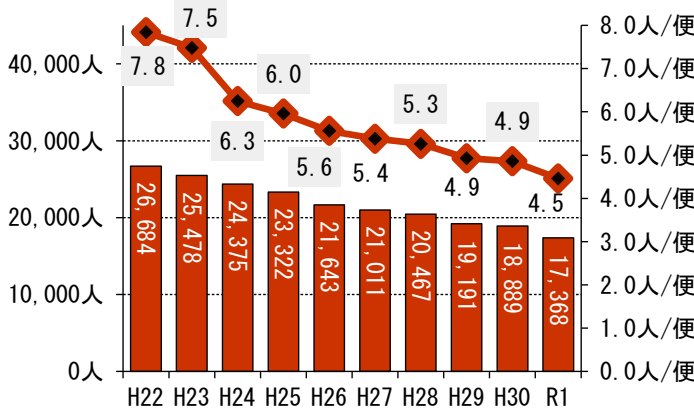
※「市負担額」は、「負担金-県補助金」により算出

坂上線の運行状況

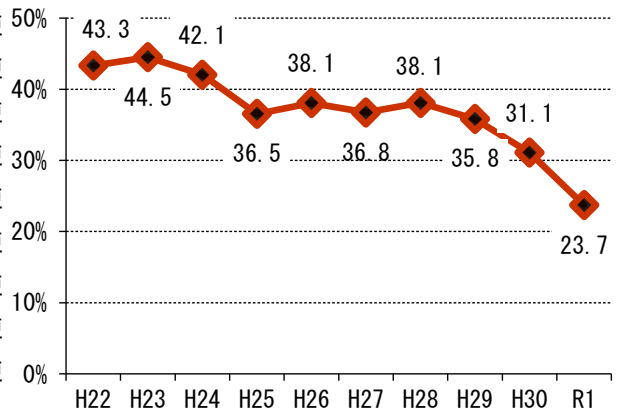
1 利用者数(月別)・1便あたりの利用者数 (R1)



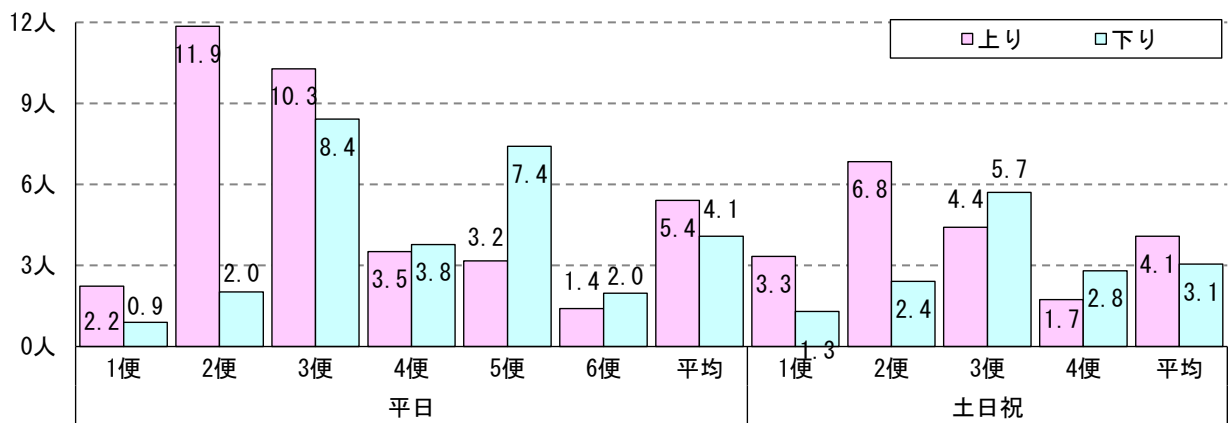
2 利用者数・1便あたりの利用者数 (年度別)



3 収支率 (年度別)



4 1便あたりの利用者数 (R1)



5 運行経費, 運賃収入, 市負担額

(単位: 千円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
運行経費	14,618	14,680	16,072	17,259	16,125	15,778	16,191	16,389	16,616	18,856
運賃収入	6,336	6,532	6,758	6,306	6,138	5,799	6,168	5,870	5,168	4,471
市負担額	3,023	3,022	3,178	3,137	3,150	3,315	3,652	3,933	4,562	5,432

※「市負担額」は、「委託料－県補助金－岩国市負担金」により算出

令和元年度地域公共交通事業の収支状況等

1. 地域公共交通事業の収支状況について

(1) 地域コミュニティ交通

ア. こいこいバス (幹線交通)

路線	利用者数 (人)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
こいこいバス	144,083	31,105,946	27,472,824	△3,633,122	88.3

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月の利用者数は前年同月と比較して約15%減少しました。
- ・経常収益は前年度とほぼ同程度ですが、経常経費は前年と比較して約5%増加したため、収支率が約5%下がりました。

イ. 支線交通

路線	利用者数 (人)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
三ツ石地区 乗合タクシー	1,514	971,620	344,086	△627,534	35.4
ひまわり タクシー	734	550,600	149,991	△400,609	27.2
湯舟のりあい タクシー	642	447,100	145,904	△301,196	32.6
栄ぐるりん タクシー	982	876,970	245,500	△631,470	28.0
あじさい タクシー	194	182,440	44,086	△138,354	24.2
合計	4,066	3,028,730	929,567	△2,099,163	30.7

ア.イ.の合計利用者数 148,149人

(2) 路線バス (廃止路線代替バス)

路線	利用者数 (人)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
大竹・栗谷線	4,060	14,754,500	1,747,620	△13,006,880	11.8
坂上線	17,368	18,855,072	4,471,120	△14,383,952	23.7
合計	21,428	33,609,572	6,218,740	△27,390,832	18.5

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月の利用者数は前年同月と比較して、大竹・栗谷線は約17%減少、坂上線は約20%減少しました。
- ・路線バスの経常収益は前年度と比較して約11%減少、経常経費は前年と比較して約9%増加したため、収支率が約4%下がりました。